

2006年3月期
中間決算説明資料

2005年11月8日
旭化成株式会社

1. 2006年3月期中間実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
セグメント別売上高・営業利益	P9～P12
連結貸借対照表	P13
連結キャッシュ・フロー計算書	P14
設備投資額、減価償却費、研究開発費	

2. 2006年3月期業績予想

当期の業績予想	P16
セグメント別売上高・営業利益	P17～P18

3. 参考資料

セグメント別概況	P20～P26
セグメント別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P27
設備投資件名	P28
主要関係会社概要・概況	P29～P32
ホームズ参考資料	P33～P36
ファーマ参考資料	P37～P39

1. 2006年3月期中間実績

主要決算数値(1)

	04/9	05/9		対前年同期 (b-a)	
	a	実績 b	前回予想	増減額	増減率
売上高	6,593 億円	7,185 億円	7,160 億円	592 億円	9.0 %
営業利益	551	475	475	-77	-13.9
(営業利益)*	(459)	(451)	(452)	(-8)	(-1.8)
経常利益	553	472	455	-81	-14.6
中間純利益	269	254	225	-15	-5.5

* ()は数理計算上の差異償却前の実質利益

	05/3	05/9	増減
総資産	12,701 億円	13,045 億円	345 億円
株主資本	5,117	5,421	303
有利子負債残高	2,488	2,437	-51
D/Eレシオ	0.49	0.45	

主要決算数値(2)

	04/9	05/9
一株当たり中間配当金	4 円	5 円
一株当たり中間純利益 (EPS)	19.20 円	18.15 円
総資産利益率 (ROA)	* 4.3 %	* 3.9 %
株主資本利益率 (ROE)	* 11.5 %	* 9.6 %
一株当たり純資産 (BPS)	343.25 円	387.16 円

* 年率換算

<連結対象範囲>

連結子会社数	106	105
持分法適用会社数	54	53

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	30,200	38,000
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	110	110

期末人員	25,322 人	23,219 人
------	----------	----------

連結損益計算書

(上段:利益率、% 下段:金額、単位億円)

	04/9	05/9	増減	増減率(%)
売上高	6,593	7,185	592	9.0
売上原価	4,782	5,411	630	13.2
販管費	1,260	1,299	39	3.1
営業利益	8.4% 551	6.6% 475	-77	-13.9
営業外損益	2	-2	-4	
(内、金融収支)	(-6)	(-1)	(4)	
(内、持分法投資利益)	(12)	(7)	(-6)	
経常利益	8.4% 553	6.6% 472	-81	-14.6
特別損益	-142	-66	76	
税前利益	6.2% 411	5.6% 406	-5	-1.2
法人税等	-139	-151	-12	
少数株主損益	-4	-1	2	
中間純利益	4.1% 269	3.5% 254	-15	-5.5

(1) 金融収支

(億円)

	04/9	05/9	増減
支払利息	-19	-17	2
受取利息	2	2	0
受取配当金	12	15	2
その他	-1	-1	-0
合計	-6	-1	4

(2) 有利子負債残高

(億円)

	04/9	05/3	05/9	05/3比増減
短期借入金	349	314	402	88
長期借入金	811	792	773	-19
社債	1,480	1,380	1,260	-120
割引手形	2	2	2	0
合計	2,642	2,488	2,437	-51

特別損益

(億円)

	04/9	05/9	増減
投資有価証券売却益	19	—	-19
固定資産売却益	7	3	-5
貸倒引当金戻入益	0	1	1
特別利益	26	3	-23
投資有価証券売却損	-	5	5
投資有価証券評価損	3	2	-1
固定資産処分損	49	12	-37
減損損失	-	38	38
構造改善費用	116	12	-104
特別損失	168	69	-98
特別損益	-142	-66	76

セグメント別売上高・営業利益(実質ベース)^{注1)}(1)

(億円)

	売上高			営業利益(実質ベース) ^{注1)}						前回予想	
	04/9	05/9	増減	04/9		05/9		増減		売上高	営業利益 (実質ベース)
ケミカルズ ^{注2)}	2,736	3,188	452	25	166	9	193	-15	27	3,140	181
ホームズ	1,673	1,853	181	16	74	6	78	-10	4	1,850	79
ファーマ	528	536	8	11	60	1	55	-10	-5	540	54
せんい ^{注2)}	457	435	-21	8	33	3	19	-5	-14	460	21
エレクトロニクス	481	487	6	5	101	0	83	-5	-18	490	85
建材	301	284	-17	7	8	0	18	-6	10	290	15
ライフ&リビング	305	267	-37	4	25	1	24	-2	-2	270	29
サービス・エンジニアリング等	113	134	21	0	8	-	13	0	5	120	10
消去又は全社	-	-	-	17	-17	1	-32	-15	-14	-	-21
合計	6,593	7,185	592	92	459	24	451	-68	-8	7,160	452

注1) 連結営業利益は数理計算上の差異償却額を除いた実質利益
営業利益の枠左上の数字は数理計算上の差異償却額(外数)

注2) ケミカルズ及びせんいの04年9月期売上高及び営業利益は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の売上高及び営業損益を組み替えた後の金額。

セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高)

(億円)

	04/9			05/9			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカルズ	2,736	1,098	40.1	3,188	1,317	41.3	218	19.9
ホームズ	1,673	-	-	1,853	-	-	-	-
ファーマ	528	99	18.8	536	110	20.5	11	11.0
せんい	457	109	23.8	435	109	25.1	0	0.4
エレクトロニクス	481	185	38.6	487	191	39.1	5	2.8
建材	301	-	-	284	-	-	-	-
ライフ&リビング	305	25	8.1	267	26	9.6	1	3.9
サービス・エンジニアリング等	113	4	3.5	134	11	8.0	7	169.9
合計	6,593	1,521	23.1	7,185	1,763	24.5	243	16.0
東アジア地域への売上高		927	14.1		1,051	14.6	124	13.4

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 4,619 1,521 32.9 5,048 1,763 34.9

セグメント別売上高増減要因(05/9 対 04/9) **AsahiKASEI**

(億円)

	数量差	売値差	うち為替因	その他差	計
ケミカルズ	171	208	-4	73	452
ホームズ	-26	68	0	139	181
ファーマ	16	-8	0	0	8
せんい	4	-7	-1	-18	-21
エレクトロニクス	11	-5	1	0	6
建材	-25	8	0	0	-17
ライフ&リビング	3	0	0	-40	-37
サービス・エンジニアリング等	32	0	0	-11	21
合 計	186	264	-4	143	592

セグメント別営業利益増減要因(05/9 対 04/9) AsahiKASEI

(億円)

	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	小計	数理計算上 差異償却額	計
ケミカルズ	34	208	-4	-215	27	-15	12
ホームズ	-10	68	0	-54	4	-10	-7
ファーマ	13	-8	0	-10	-5	-10	-15
せんい	2	-7	-1	-9	-14	-5	-19
エレクトロニクス	4	-5	1	-17	-18	-5	-23
建材	-8	8	0	10	10	-6	3
ライフ&リビング	0	0	0	-2	-2	-2	-4
サービス・エンジニアリング等	7	0	0	-2	5	0	5
消去又は全社	—	—	—	-14	-14	-15	-29
合計	42	264	-4	-313	-8	-68	-77

連結貸借対照表

(億円)

	05/3	05/9	増減		05/3	05/9	増減
流動資産	5,897	6,115	218	負債	7,520	7,557	37
現金及び預金	683	607	-76	流動負債	4,030	4,095	65
受取手形及び売掛金	2,522	2,592	70	固定負債	3,490	3,462	-28
棚卸資産	2,025	2,139	114	少数株主持分	64	68	4
その他	667	778	111	資本	5,117	5,421	303
固定資産	6,803	6,930	127	資本金	1,034	1,034	—
有形固定資産	4,200	4,179	-21	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	364	340	-24	利益剰余金	2,956	3,152	196
投資有価証券	1,899	2,081	182	再評価積立金	10	10	—
その他	341	331	-10	その他有価証券評価差額金	547	634	87
				為替換算調整勘定	-54	-33	21
				自己株式	-170	-171	-1
資産合計	12,701	13,045	345	負債・少持・資本合計	12,701	13,045	345

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	04/9	05/9
営業活動によるキャッシュ・フロー①	327	332
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-296	-275
フリーキャッシュ・フロー③(①+②)	32	57
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-191	-137
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	1	2
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-159	-78

現金及び現金同等物の期首残高⑦	709	685
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	15	1
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	565	608

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	04/9	05/3	05/9	06/3予
設備投資額(有形)	299	621	301	645
設備投資額(無形)	25	64	31	60
減価償却費	344	715	335	690
研究開発費	249	507	254	530

2. 2006年3月期業績予想

当期の業績予想

(億円)

	05/3			06/3			増減 b-a
	上	下	計a	上実績	下予想	計b	
売上高	6,593	7,184	13,777	7,185	7,815	15,000	1,223
営業利益	551	607	1,158	475	575	1,050	-108
(営業利益)	(459)	(497)	(956)	(451)	(559)	(1,010)	(54)
経常利益	553	576	1,129	472	558	1,030	-99
当期純利益	269	296	565	254	336	590	25

()は数理計算上の差異償却前の実質利益

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	30,200	34,100	32,150	38,000	47,000	42,500	10,350
為替レート(相場平均¥/\$)	110	105	108	110	110	110	2

	05/3	06/3
1株当たり年間配当金	8円	10円 (予定)

セグメント別売上高

(億円)

	05/3			06/3			増減 b-a	06/3 当初計画
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		
ケミカルズ 注)	2,736	2,966	5,702	3,188	3,412	6,600	898	6,330
ホームズ	1,673	2,085	3,758	1,853	2,147	4,000	242	3,900
ファーマ	528	512	1,039	536	564	1,100	61	1,100
せんい 注)	457	459	915	435	505	940	25	1,000
エレクトロニクス	481	449	930	487	513	1,000	70	1,000
建材	301	298	599	284	296	580	-19	600
ライフ&リビング	305	287	591	267	263	530	-61	550
サービス・エンジニアリング等	113	129	242	134	116	250	8	220
合 計	6,593	7,184	13,777	7,185	7,815	15,000	1,223	14,700

注) ケミカルズ及びせんいの05年3月期の売上高は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の売上高を組み替えた後の金額。

セグメント別営業利益(実質ベース)^{注1)}

AsahiKASEI

(億円)

	05/3			06/3			増減		06/3 当初計画							
	上	下	計a	上実績	下予想	計b	b-a									
ケミカルズ ^{注2)}	25	166	33	154	58	320	9	193	6	167	15	360	-43	40	15	350
ホームズ	16	74	17	182	34	256	6	78	6	200	12	278	-22	22	12	283
ファーマ	11	60	13	50	24	110	1	55	1	58	2	113	-22	3	2	118
せんい ^{注2)}	8	33	11	31	19	64	3	19	3	20	6	39	-13	-25	6	63
エレクトロニクス	5	101	6	63	11	165	0	83	-0	92	-0	175	-11	10	0	180
建材	7	8	8	3	15	11	0	18	0	17	0	35	-15	24	0	30
ライフ&リビング	4	25	5	27	9	52	1	24	1	29	2	53	-7	1	2	58
サービス・エンジニアリング等	0	8	0	27	0	36	-	13	-	17	-	30	0	-6	0	30
小計	76	476	94	537	169	1,014	23	482	16	600	38	1,083	-132	69	38	1,113
消去又は全社	17	-17	16	-40	33	-58	1	-32	1	-41	3	-73	-30	-15	3	-53
合計	92	459	110	497	202	956	24	451	16	559	40	1,010	-162	54	40	1,060

注1) 連結営業利益は数理計算上の差異償却額を除いた実質営業利益。

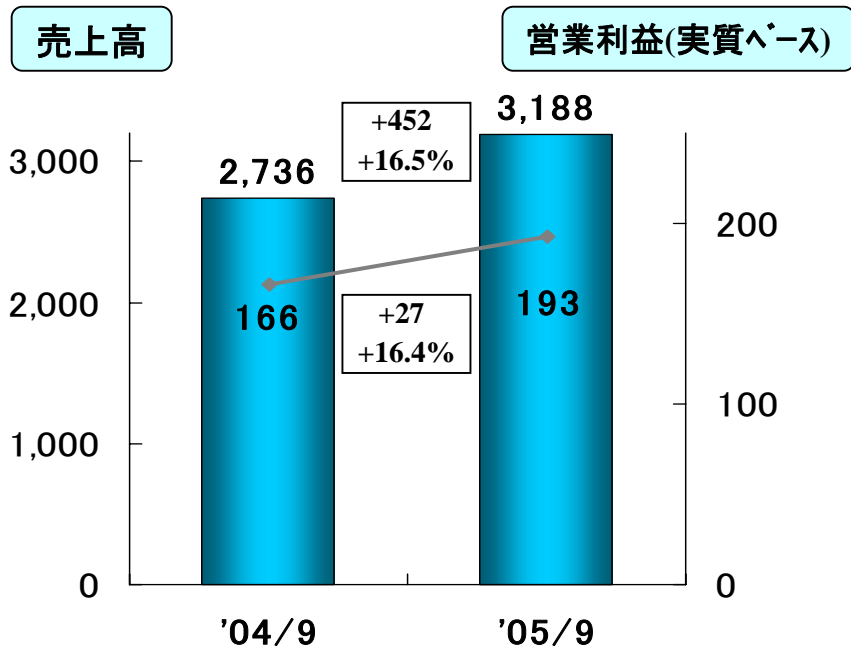
営業利益の枠左上の数字は数理計算上の差異償却額(外数)

注2) ケミカルズ及びせんいの05年3月期の営業利益は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の営業損益を組み替えた後の金額。

3. 参考資料

(億円)

<概況>



原燃料価格高騰の影響を受けたが、市況改善に努力し、また膜関連事業が売上を伸ばし、前年同期比増収、増益となった。

・モノマー系事業

市況改善に努めたが、スチレンモノマー等が原燃料価格高騰に追いつかず、増収となるも、全体では業績は前期を下回った。

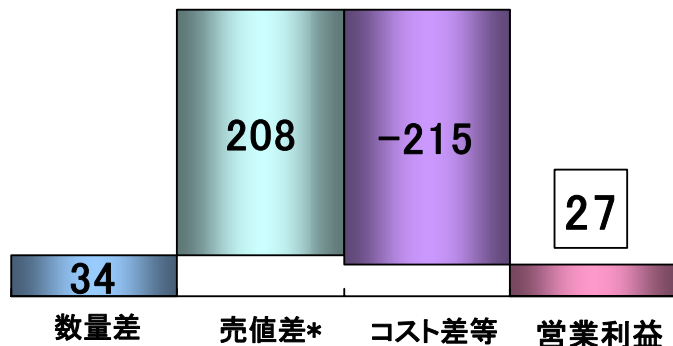
・ポリマー系事業

原燃料価格高騰の影響を受けたが、市況改善に努め、海外子会社が好調に推移したため、前年同期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」等膜関連製品が販売量を伸ばし、前年同期比増収、増益となった。

営業利益分析

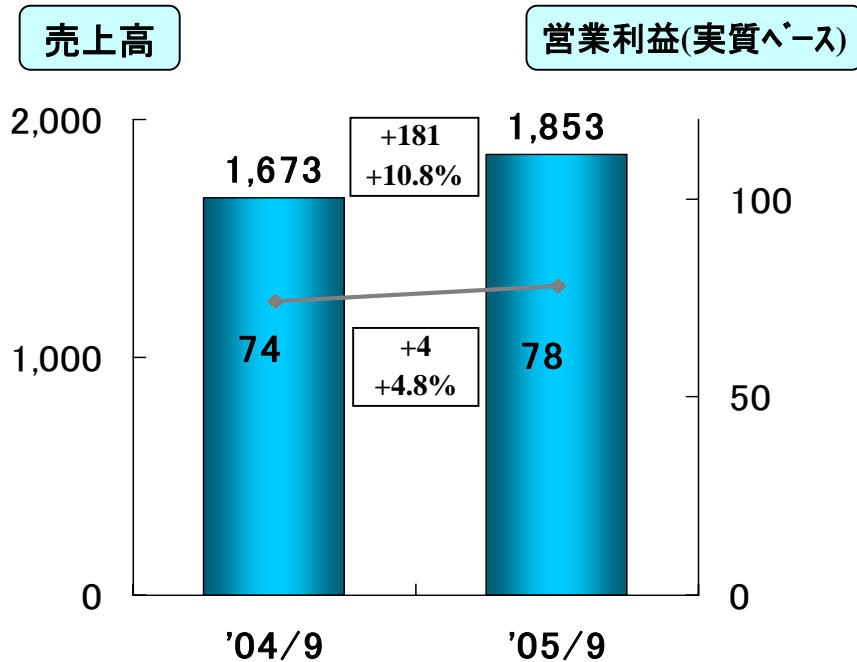


*売値差は為替因-4を含む。

<トピックス>

- ・精密ろ過膜「マイクロザ™」製造設備の能力増強を決定(4月着工、05/11月完工)
- ・リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」の製造設備増強(4月着工、06/7月完工)
- ・アルファプラント増強によるベンゼン生産能力増強(5月着工、06/3月完工)

(億円)



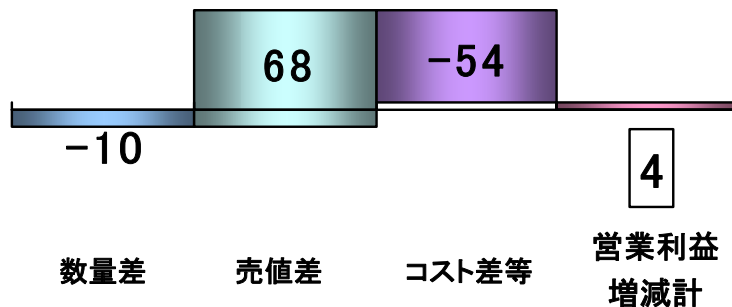
<概況>

- ・分譲マンション販売戸数の増加により、前年同期比増収。請負の引渡し戸数の減少などがあったものの、分譲マンション、関係会社の業績改善により前年同期比増益となった。
- ・受注は第1四半期は苦戦したが、第2四半期に戸建て中心に持ち直した結果、前期比▲1.7%とほぼ計画通りの結果となった。

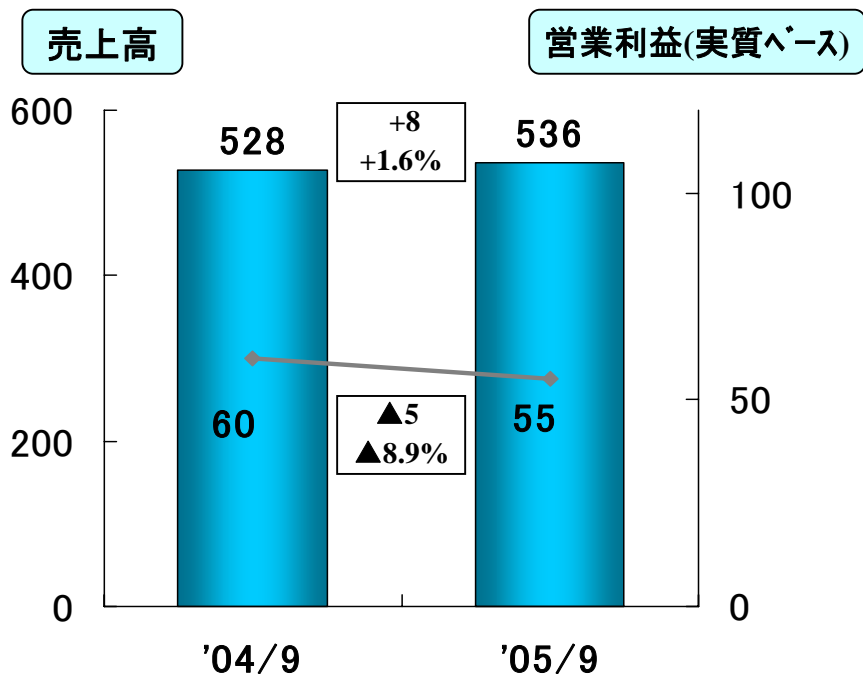
<トピックス>

- ・新商品の上市
- 「ヘーベルハウス™ロングライフ二世帯住宅」(4月)
- 重層長屋形式二階建賃貸住宅「ヘーベルメゾン™コートヴィラ」(9月)

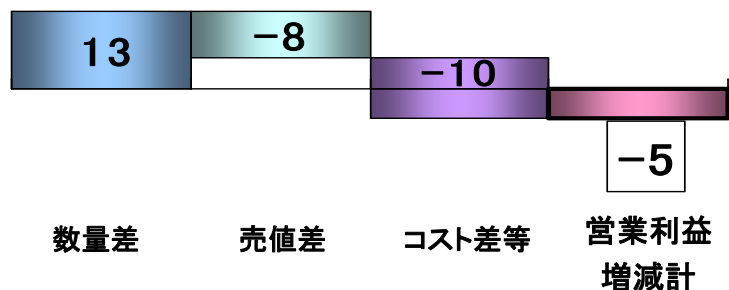
営業利益分析



(億円)



営業利益分析



<概況>

・医薬事業

排尿障害治療薬「フリバス™」、抗うつ薬「トレドミン™」が順調に売上を伸ばし、前年同期比増収、増益となった。

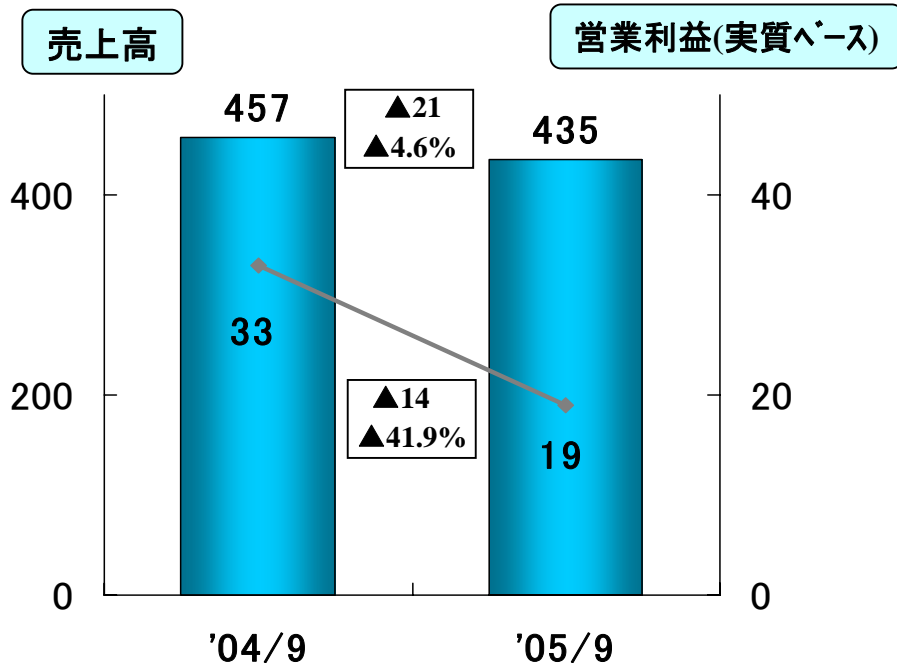
・医療事業

人工腎臓は販売量を伸ばしたが、製造設備増強による償却負担の増加などにより、業績は前年同期を下回った。

<トピックス>

- ・構造改善推進のため、神島医薬工場(静岡県)を名古屋医薬工場(愛知県)に統合することを決定。(6月)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」事業を旭化成ファーマ(株)から旭化成メディカル(株)へ移管し、販売体制・研究開発機能を強化。(10月)
- ・ポリスルホン人工腎臓の製造設備能力増強(11月)

(億円)



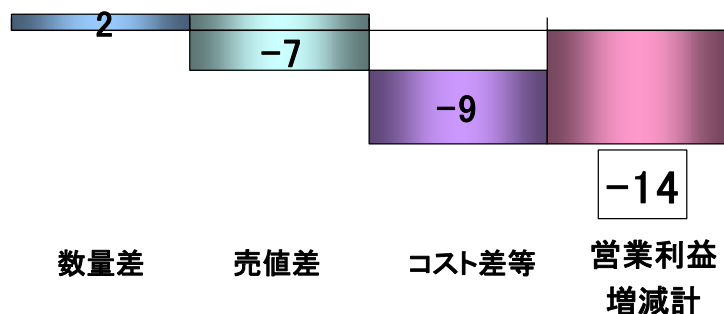
<概況>

セルロース繊維「ベンベルグ™」の販売は順調に推移したが、原燃料価格の高騰、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の競合激化による販売価格下落の影響を受け、前年同期比減収、減益となった。

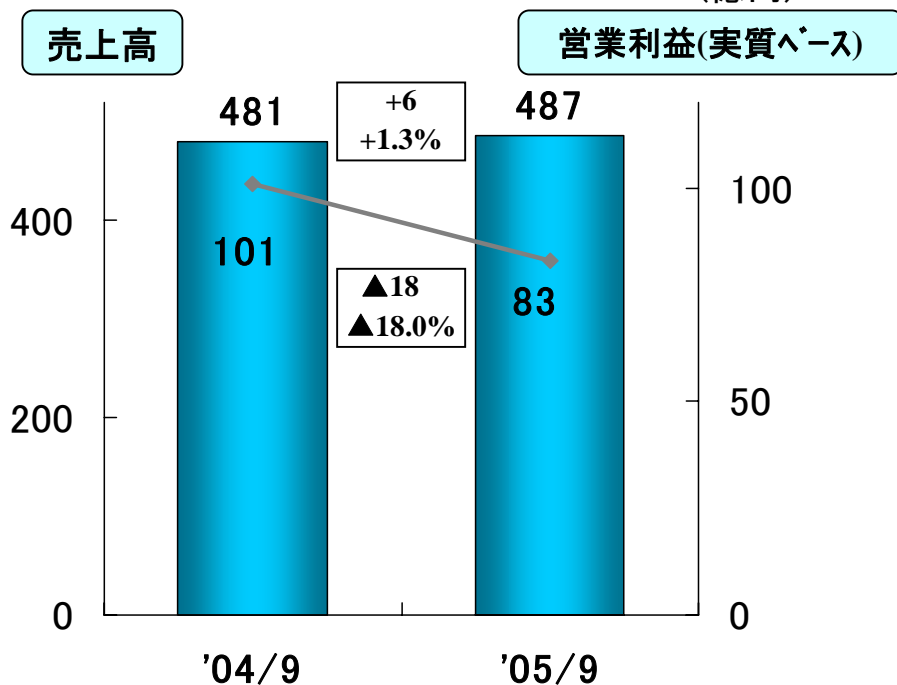
<トピックス>

- ・ポリケトン繊維の事業化を目的として「ポリケトン事業推進室」を設置。(4月)
- ・新規事業創出を目指し、「CNB(セルロースニュービジネス)プロジェクト」及び「FNB(不織布ニュービジネス)プロジェクト」を発足。(4月)

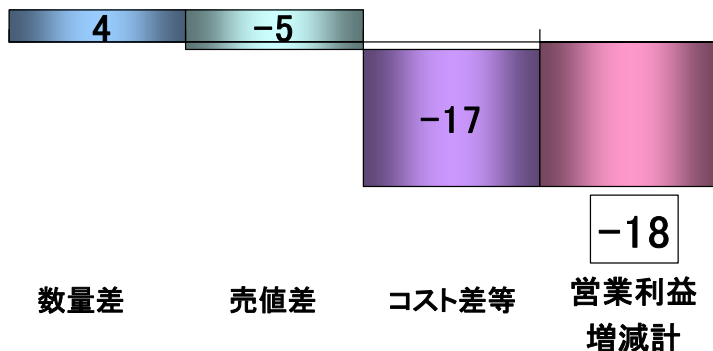
営業利益分析



(億円)



営業利益分析



<概況>

・電子部品事業

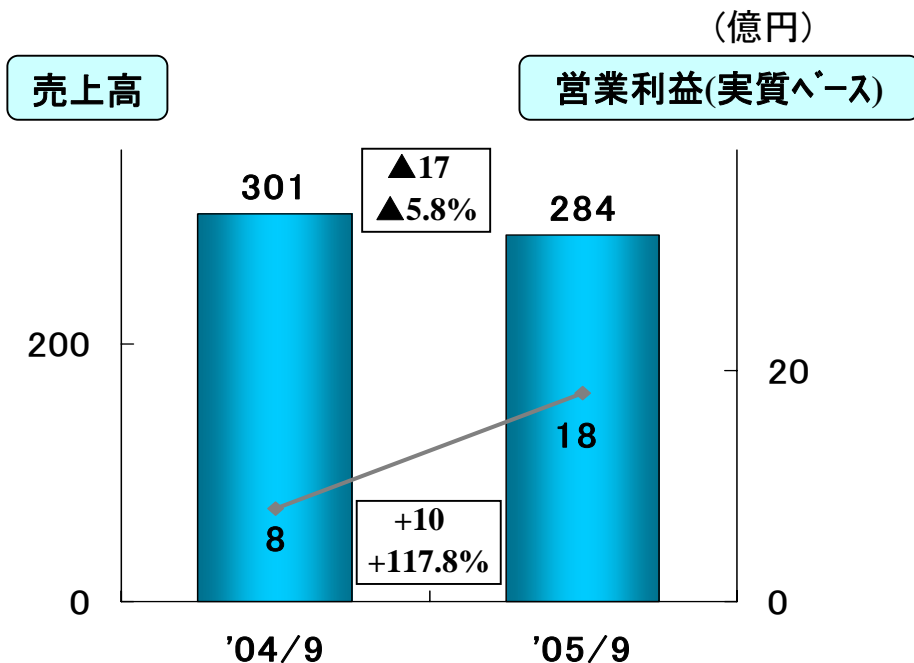
IT機器やデジタル家電向けの需要は堅調に推移したが、競争の激化などにより、業績は前期を下回った。

・電子材料事業

防塵保護膜ペリクルは大型液晶パネル向け販売を順調に伸ばしたが、プリント配線基板用ガラスクロスが海外マーケットでの売値下落の影響を受け、業績は前期を下回った。

<トピックス>

- ・ペリクル事業を旭化成電子(株)から旭化成エレクトロニクス(株)へ移管。(4月)
- ・ペリクル第2系列(延岡)の商業生産開始(5月)



<概況>

・建築・住宅資材事業

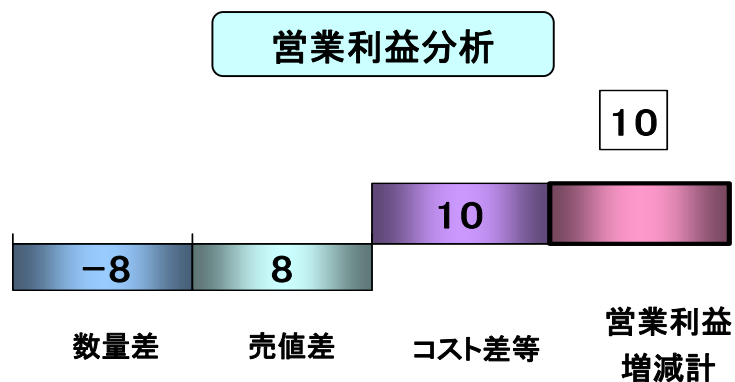
堅調な民間設備投資需要を背景として主力の軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」を中心に販売量を伸ばし、前年同期比増益となった。

・断熱材事業

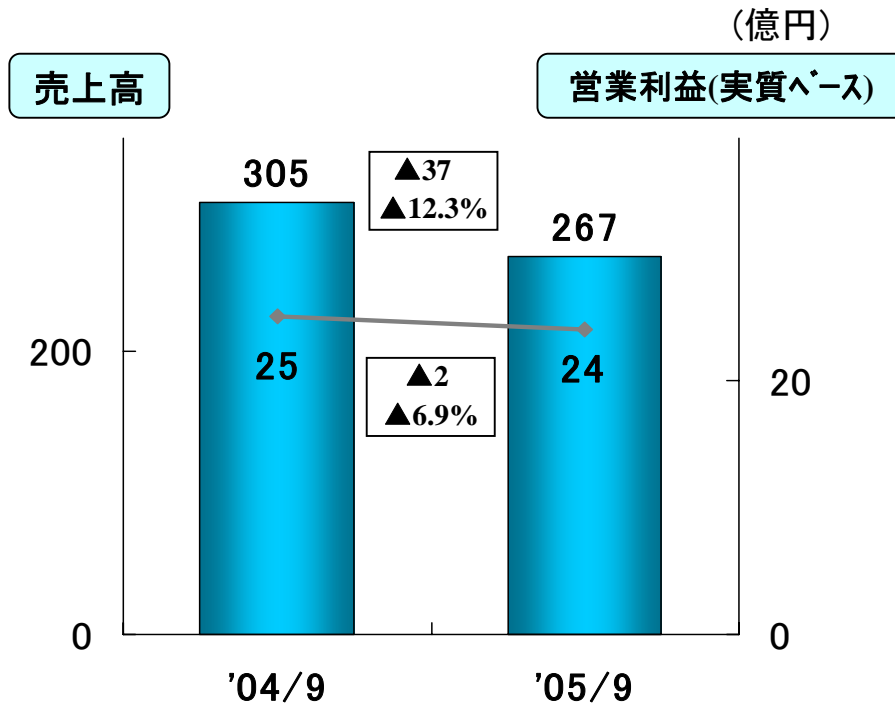
高機能断熱材「ネオマ™フォーム」は拡販に努めたが、原燃料価格高騰の影響を受け、業績は前年同期を下回った。

・パイル・土木資材事業

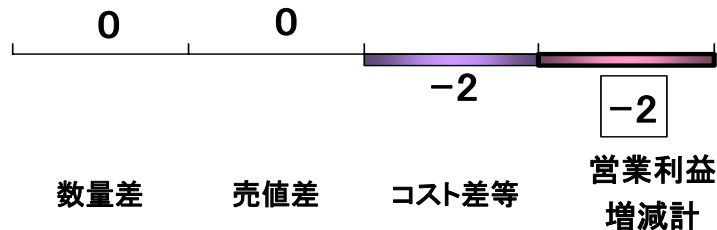
既製コンクリートパイルの販売量は減少したが、中小型パイルは売上を順調に伸ばし、前年同期比増益となった。



ライフ&リビング概況



営業利益分析



<概況>

OPS(二軸延伸ポリスチレン)シート事業を大日本インキ化学工業(株)との合併会社であるサンディック(株)に移管したため、前年同期比減収となった。

・ホームプロダクツ事業

「サランラップTM」の増販、「サランTM繊維」の輸出増により、前年同期比増益となった。

・パッケージング事業

原燃料価格高騰の影響を受け、業績は前期を下回った。

<トピックス>

・旭化成パックス(株)が製造、販売するバイオマス・生分解性プラスチックコップ「グリーン・プロマックスTM」が「愛・地球博」で飲料用コップとして採用。(05月3~9月)

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費		研究開発費	
	05/3	05/9	06/3予	05/3	05/9	05/3	05/9
ケミカルズ	248	116	305	300	153	146	72
ホームズ	34	19	35	23	12	14	7
ファーマ	83	37	65	64	33	142	67
せんい	52	29	45	68	25	22	10
エレクトロニクス	164	71	145	133	54	85	48
建材	22	11	25	38	16	9	4
ライフ&リビング	43	29	45	45	21	21	12
サービス・エンジニアリング等	14	4	10	12	3	1	0
消去又は全社	24	14	30	33	18	67	33
合計	685	332	705	715	335	507	254

<05年度上期完工件名>

①大型の防塵保護膜ペリクル第2系列
増設 (04/5~05/5 延岡)

②「ベンリーゼ™」製造設備能力増強
(05/6 延岡)

⑤精密ろ過膜「マイクロザ™」製造設備の
能力増強
(05/4~11 2万本/年→3万本/年 富士)

⑥新プロピレン製造設備(オメガプロセス)
の新設 (04/11~06/3 水島)

<05年度上期 工事中件名>

③(旭化成医療機器(杭州))
ポリスルホン人工腎臓「APS™」組
立工場新設
(04/3~05/11 約350万本/年)

④(旭化成メディカル)
ポリスルホン人工腎臓「APS™」紡糸
製造設備能力増強
(04/4~05/11 約600万束/年 延岡)

⑦アルファプラント増設によるベンゼン増産
(05/5~06/3 水島)

○⑧リチウムイオン2次電池用セパレータ
「ハイポア™」製造設備能力増強
(05/4~06/7 3,600万m²/年 守山)

○: 投資額30億円以上

主要関係会社概要(1)

<06年3月期中間実績>

会社名	資本金 (億円)	持分比率 (%)	売上高		営業利益		中間純利益	
				前同比		前同比		前同比
東西石油化学	億W 506.4	100.0	A	増収	黒字	横ばい	黒字	減益
旭化成メディカル	8.0	100.0	A	減収	黒字	減益	黒字	減益
旭化成マイクロシステム	140.0	100.0	A	減収	黒字	減益	黒字	減益
旭化成電子*	4.0	100.0	D	横ばい	黒字	減益	黒字	減益
旭シュエーベル	6.5	100.0	E	減収	黒字	増益	黒字	増益

(注) 売上高表示：A=125億円超 B=100超～125 C=75超～100 D=50超～75 E=50億円以下

○ 印：売上高(増減10億円以上)、利益(損益額5億円以上または増減5億円以上)

* 旭化成電子は、05年4月よりペリクル事業を旭化成エレクトロニクスへ移管したことに伴い、当該事業の04年度売上高などを組み替えた後の金額を元に計算。

主要関係会社概要(2)

<06年3月期通期予想>

会社名	資本金 (億円)	持分比率 (%)	売上高		営業利益		当期純利益	
				前年比		前年比		前年比
東西石油化学	506.4	100.0	A	増収	黒字	増益	黒字	減益
旭化成メディカル	8.0	100.0	A	増収	黒字	減益	黒字	減益
旭化成マイクロシステム	140.0	100.0	A	増収	黒字	増益	黒字	増益
旭化成電子*	4.0	100.0	D	横ばい	黒字	横ばい	黒字	横ばい
旭シューエーベル	6.5	100.0	E	増収	黒字	増益	黒字	増益

(注)売上高表示：A=250億円超 B=200超～250 C=150超～200 D=100超～150 E=100億円以下

○印：売上高(増減10億円以上)、利益(損益額10億円以上または増減10億円以上)

* 旭化成電子は、05年4月よりペリクル事業を旭化成エレクトロニクスへ移管したことに伴い、当該事業の04年度売上高などを組み替えた後の金額を元に計算。

東西石油化学

(06年3月期中間)

AN市況の改善、コストダウン活動の推進によりANの採算は改善し、前年同期比増収となったが、ウオン高による青化ソーダ事業の収益悪化により、営業利益は前年同期比横ばい。

(06年3月期通期)

原燃料価格高騰が続くなか事業環境は厳しいが、AN市況の改善、コストダウンの推進により、営業増益を目指す。

旭化成メディカル

(06年3月期中間)

ポリスルホン人工腎臓「APS™」は販売数量を伸ばしたものの、設備増強の償却負担などの影響により、前年同期比減収、営業減益。

(06年3月期通期)

人工腎臓の拡販を進め、増収となる見込みだが、厳しい競合下における製品価格の下落、設備増強の償却負担増などにより、前年同期比営業減益となる見込み。

旭化成マイクロシステム

(06年3月期中間)

デジタル家電製品やパソコン向けに需要が堅調に推移したが、競合激化による販売価格の下落などにより、前年同期比減収、営業減益。

(06年3月期通期)

引き続き競合の激化による厳しい状況が続くが、デジタル家電製品の好調を背景に拡販を進め、通期で営業増益を目指す。

旭化成電子

(06年3月期中間)

ホールICは堅調に推移したが、パソコン向けなど一部モーターでのセンサレス化の影響によりホール素子が販売量を減らし、売上高は横ばいとなったが、営業利益は前年同期比減益となった。

(06年3月期通期)

携帯電話向けなどでの拡販を図り、通期で前年並みの営業利益を確保する。

旭シュエーベル

(06年3月期中間)

販売量減の影響で減収となったものの、高付加価値品へのシフト、コストダウンを進めた結果、営業増益となった。

(06年3月期通期)

コストダウンの徹底、高付加価値化の一層の推進により、営業増益を目指す。

ホームズ(1)(旭化成ホームズ単体)

1. 売上高、受注高の推移

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負売上高	分譲売上高	その他*	計	請負受注高	受注残
00	上期	1,473 (5.1%)	93 (32.9%)	-	1,566 (6.4%)	1,563 (0.3%)	2,958
	下期	1,666 (▲1.6%)	104 (15.6%)	-	1,770 (▲0.7%)	1,433 (▲10.7%)	2,726
	通期	3,139 (1.4%)	197 (23.1%)	-	3,336 (2.5%)	2,996 (▲5.3%)	
01	上期	1,447 (▲1.8%)	75 (▲19.4%)	-	1,523 (▲2.7%)	1,417 (▲9.3%)	2,695
	下期	1,449 (▲13.0%)	90 (▲13.5%)	-	1,539 (▲13.1%)	1,313 (▲8.4%)	2,559
	通期	2,896 (▲7.7%)	165 (▲16.2%)	-	3,062 (▲8.2%)	2,730 (▲8.9%)	
02	上期	1,219 (▲15.8%)	65 (▲13.3%)	-	1,284 (▲15.7%)	1,393 (▲1.7%)	2,733
	下期	1,414 (▲2.4%)	102 (13.3%)	-	1,516 (▲1.5%)	1,500 (14.2%)	2,820
	通期	2,633 (▲9.1%)	167 (1.2%)	-	2,800 (▲8.6%)	2,893 (6.0%)	
03	上期	1,212 (▲0.6%)	52 (▲17.8%)	5	1,269 (▲1.3%)	1,614 (15.9%)	3,222
	下期	1,599 (13.1%)	308 (200.9%)	6	1,912 (26.0%)	1,567 (4.5%)	3,190
	通期	2,811 (6.8%)	360 (117.0%)	11	3,182 (13.5%)	3,181 (9.9%)	
04	上期	1,389 (14.6%)	66 (25.3%)	5	1,460 (15.0%)	1,531 (▲5.2%)	3,332
	下期	1,719 (7.5%)	136 (▲55.9%)	6	1,860 (▲2.8%)	1,487 (▲5.1%)	3,101
	通期	3,107 (10.6%)	201 (▲44.1%)	11	3,320 (4.3%)	3,018 (▲5.1%)	
05	上期	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	1,504 (▲1.7%)	3,204
	下予	1,748 (1.7%)	145 (6.8%)	6	1,899 (2.1%)	1,576 (5.9%)	3,031
	通期見通し	3,150 (1.4%)	350 (74.0%)	10	3,510 (5.7%)	3,080 (2.1%)	

* その他: 損害保険販売手数料収入等

2. 2006年3月期中間決算 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	880	1.7%	3,493	-2.0%	974	8.5%	3,755	3.0%
	中層	411	-1.5%	1,612	-8.4%	376	-19.1%	1,391	-30.7%
	小計	1,292	0.6%	5,105	-4.1%	1,351	-1.0%	5,146	-9.0%
集 合 系	低層	40	-5.7%	365	-14.3%	52	-24.0%	561	-19.5%
	中層	70	11.2%	672	5.3%	102	3.1%	1,042	18.4%
	小計	110	4.5%	1,037	-2.5%	154	-8.0%	1,603	1.6%
合計		1,402	0.9%	6,142	-3.9%	1,504	-1.7%	6,749	-6.7%
分譲事業等		205	213.0%	568	108.1%	-	-	-	-
その他		4	-	-	-	-	-	-	-
合計		1,611	10.4%	6,710	0.7%	1,504	-1.7%	6,749	-6.7%
関係会社等		243	14.1%	-	-	-	-	-	-
総合計		1,853	10.8%	6,710	0.7%	1,504	-1.7%	6,749	-6.7%

3. 2006年3月期予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	1,944	3.3%	7,640	-0.8%	2,023	10.1%	7,834	5.4%
	中層	907	-1.9%	3,753	-9.7%	760	-11.6%	3,027	-17.0%
	小計	2,850	1.6%	11,393	-3.9%	2,783	3.2%	10,861	-2.0%
集 合 系	低層	126	-4.5%	1,182	-14.1%	105	-20.7%	1,119	-11.7%
	中層	174	2.2%	1,595	-2.6%	192	1.6%	2,020	12.5%
	小計	300	-0.7%	2,777	-7.8%	297	-7.6%	3,139	2.5%
合計		3,150	1.4%	14,170	-4.7%	3,080	2.1%	14,000	-1.0%
分譲事業等		350	74.0%	870	35.1%	-	-	-	-
その他		10	-	-	-	-	-	-	-
合計		3,510	5.7%	15,040	-3.0%	3,080	2.1%	14,000	-1.0%
関係会社等		490	11.9%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,000	6.4%	15,040	-3.0%	3,080	2.1%	14,000	-1.0%

4. 関係会社損益

(億円)

	04/9		05/9	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	104	1	107	7
旭化成不動産	108	4	127	5

<概況>

旭化成リフォーム

昨年度取り組んだ業務構造の見直しの効果が受注高・収益構造の改善に現れ始め、コスト改善も進展したことから、06年3月期中間実績は増収、営業増益となった。通期でも、増収、営業増益を目指す。

旭化成不動産

賃貸営業、仲介営業、受託営業共順調に業績を伸ばし、06年3月期中間実績は増収、営業増益となった。通期でも、増収、営業増益を目指す。

1. ファーマセグメントの売上

(単位: 億円)

	05/3		06/3	
	上期	年間	上期	年間見込み
医薬	238	479	247	496
その他	70	136	76	133
(単独計)	308	616	322	629
旭化成メディカル	194	376	190	417
その他	26	47	24	54
(連結計)	528	1,039	536	1,100

<主要医薬品の国内売上>

(単位: 億円)

	05/3		06/3	
	上期	年間	上期	年間見込み
エルシトニン™	84	161	82	160
ブレディニン™	32	63	31	61
フリバス™	39	80	45	92
トレドミン™	27	57	31	64
エクサシン™	7	14	6	13
リカマイシン™	4	9	3	7
エリル™	7	14	7	15

2. 製品説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
フリバス™	ナフトピジル	選択的 α 1ブロッカー	前立腺肥大に伴う排尿障害	錠剤	日本オルガノン
トレドミン™	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エクサシン™	硫酸イセパマイシン	アミノグリコシド系抗生物質	感染症	注射剤	シェリングプラウ
リカマイシン™	ロキタマイシン	マクロライド系抗生物質	感染症	錠剤・ドライシロップ	—
エリル™	塩酸ファスジル	蛋白リン酸化酵素阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—

3. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
申請中の品目	①AT-877注	適応拡大	(血管拡張剤)	急性期脳血栓症
フェーズⅢの品目	①PTH注	適応拡大	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
	②ART-123注	新成分新薬	(抗血液凝固剤トロンボモジュリン)	DIC(播種性血管内血液凝固症候群)
	③AK-120錠	新成分新薬	(抗ウイルス剤)	帯状疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	剤形追加	(血管拡張剤)	狭心症
	②AP-521錠	新成分新薬	(セロトニン神経系作用剤)	不安症
フェーズⅡ(海外)の品目	①ART-123注	新成分新薬	(抗血液凝固剤トロンボモジュリン)	DVT(深部静脈血栓症)

探索・基礎研究 世界に通用する新薬の創製を目指し、創薬基盤技術を拡充・整備しつつ、新規物質の探索研究を鋭意行っている。また、基礎分野での海外企業との提携を積極的に進めて行く。

予想・見通しに関する注意事項

当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。